

市町村指定文化財取材票 《表》

|       |                           |    |     |            |    |
|-------|---------------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日   | 2024年                     | 6月 | 13日 | (記入者) 島田涼子 |    |
| 取材参加者 | 石井                        | 垣内 | 喜多  | 久門         | 島田 |
|       | 鶴田                        | 本井 | 横山  |            |    |
| 取材対象先 | 天川村：栢尾観音堂の聖観音菩薩立像他4軀〈円空仏〉 |    |     |            |    |

|                 |   |     |   |  |  |
|-----------------|---|-----|---|--|--|
| 所在地             | 吉野郡天川村栢尾693   |     |   |  |  |
| 所有者(取材<br>対応者)名 | 栢尾観音堂 堂守 ***さん<br>(個人情報守秘)                          |     | 連絡先 ***さん ***   |  |  |
|                 | PCアドレス  |     |   |  |  |
| 取材申込            | 申込先・行政名など：栢尾区・***区長                                 |     |   |  |  |
| 市町村<br>指定文化財    | 彫刻  | 5 軀 | 聖観音菩薩立像、聖観音菩薩立像胎内仏、大弁財天女立像、金剛童子立像、護法神像 いずれも1994(平成6)年6月3日指定 |  |  |
|                 | 建造物   | 棟   |   |  |  |
| 文化財指定理由         | 杉材を荒彫りした円空特有の鈍(なた)彫りで、まとまって残って伝わる貴重な群像である。(天川村HPから) |     |   |  |  |

文化財の状況

|                                | 設備・対策・点検・通知方法など  | 記入者の感想                                      |
|--------------------------------|--|---|
| 防火対策                           | 栢尾観音堂の外側に消火器格納箱を設けている。センサーなどは設置されていないが、堂守はすぐ近くに住んでおられ、何か異変があればすぐに分かるとのこと。  | 現状で問題はないと思われるが、火災感知器や火災報知機を設置すればより安全になるだろう。 |
| 獣害対策                           | 被害の有無、対策など<br>シカ、タヌキなどが出るが観音堂への実害はないとのこと。  | 問題はないと思われる。                                 |
| 保存～継承<br>へ 苦労と<br>今後の課題<br>と対策 | 江戸時代は庄屋であったという***さんの家に伝わり、代々守ってこられた円空仏を毎日午前8時から午後6時までお堂を開けて、拝観希望者に対応されている。堂内は畳敷きになっているが、一度に4人程度が上がるほどの広さで、円空仏はガラス戸内に横並びで安置している。最近は関東などからバスツアーで訪問されるケースもあり、大人数への対応にも気を配られている。 |   |

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

円空仏の大胆で自由闊達な作風、見る人を引きつける微笑みの魅力とともに、その親しみ深い\*\*\*さんのお人柄にも、また訪ねたくなるような取材だった。施設の維持管理のためストラップや念珠を作成して、販売されている。素朴で見る人の心を癒やす円空仏が今後もこの地で守られていくことを願いたい。

市町村指定文化財取材票《裏》①

|       |                           |    |     |            |    |
|-------|---------------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日   | 2024年                     | 6月 | 13日 | (記入者) 島田涼子 |    |
| 取材参加者 | 石井                        | 垣内 | 喜多  | 久門         | 島田 |
|       | 鶴田                        | 本井 | 横山  |            |    |
| 取材対象先 | 天川村：栢尾観音堂の聖観音菩薩立像他4軀〈円空仏〉 |    |     |            |    |

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 聖観音菩薩立像、聖観音菩薩立像胎内仏、大弁財天女立像、金剛童子立像、護法神像

聖観音菩薩立像 (高さ137cm)



聖観音菩薩立像(上半身)と胎内仏 (高さ5.6cm)



大弁財天女立像 (高さ85.7cm)



金剛童子立像 (高さ84.3cm)



文化財の由緒などを記入

江戸時代前期に美濃国(岐阜県)に生まれた円空(1632~1695)は、30歳ごろから遊行僧として全国を行脚し、先々で神仏の姿を鉋や鑿(のみ)を使って彫り続けた。大峯山には1672(寛文12)年から1675(延宝3)年の間に2回入峯。栢尾では\*\*家に逗留し、裏山の岩屋に通って彫ったと伝わる。まとまった群像として残るのは珍しく、貴重な作品と評価されている。(栢尾観音堂パンフレットから)

所有社寺や地域(廃寺等)の歴史や特徴を記入

栢尾観音堂の彫像は永年、弘法大師の一夜の作と伝えられてきた。1964(昭和39)年ごろから円空仏に関心を寄せていた地元の人の活動が元で1972(昭和47)年に学術調査が行なわれ、円空の作品であることが確認された。元の栢尾観音堂は現在の場所より5分ほど山奥へ登った所にあったが、台風被害を受けたため1913(大正2)年に現在地に移された。(栢尾観音堂説明板などから)

市町村指定文化財取材票<裏>②

|       |                            |    |     |            |    |
|-------|----------------------------|----|-----|------------|----|
| 取材日   | 2024年                      | 6月 | 13日 | (記入者) 島田涼子 |    |
| 取材参加者 | 石井                         | 垣内 | 喜多  | 久門         | 島田 |
|       | 鶴田                         | 本井 | 横山  |            |    |
| 取材対象先 | 天川村：栢尾観音堂の聖観音菩薩立像他4 軀〈円空仏〉 |    |     |            |    |

<写真撮影許可済み

文化財指定名 聖観音菩薩立像、聖観音菩薩立像胎内仏、大弁財天女立像、金剛童子立像、護法神像

護法神像（高さ49.7cm）



栢尾観音堂



栢尾観音堂の内部。ガラス戸奥に円空仏が並ぶ。栢尾観音堂の外部に設置された消火器格納箱



胎内仏と護法神像について

胎内仏については1964（昭和39）年の調査で聖観音菩薩立像の背面に埋木を施した納入孔があり、木造黒塗の仏像1 軀、仏舎利に見たてた硬玉、紙片が見つかった。紙片から1670（寛文10）年の制作と判明した。

栢尾観音堂の護法神像は円空が彫った初の護法神像として研究者の注目を集めており、2024年2月～4月に大阪市の「あべのハルカス美術館」で開かれた円空展でも展示された。

円空仏データ

栢尾観音堂の円空仏5 軀のほか、天川村には大峯山寺の阿弥陀如来像、天河大弁財天社の大黒天像など11 軀も円空仏と確認されているという。

円空は32歳の時、12万体の仏像彫刻の悲願を立てたと言われ、研究者によると、現在全国で計約5350 軀の円空仏が確認されている。近畿から北海道にまたがり、出生地の岐阜県と愛知県で約9割を占める。岐阜県関市などに記念館がある。（栢尾観音堂パンフレットなどから）